

## 6 人権問題に関する自由意見

問 日ごろ人権問題について考えていることや気付いたことを自由にお書きください。

141 件の御意見から抜粋して、次のとおり整理した。

### ■〔人権問題全般〕

#### <社会全体に関する意見>

- TV などでは人権に関する討論会や地域のコミュニティなどで座談会等、家族間、友人間など、まず、身近な問題から、議論、討論するのの一考だと思えます。
- 日常生活に幸福感・安心感が少ないと、他人に対して無関心・自己中心的な考え・周りの人との交流が少なくなったりするように思う。生活の安定(収入・住居)を確保し、気軽に話が出来る人、相談できる人を増やしていく。地区のコミセンでも定期的に明るい茶話会があると良い。来られない人には、傾聴ボランティアの人が出向けるようにして、魅力のある町になればと思います。
- 人間は、自分より弱い立場の人に気配りするには、自分にゆとりがなければ出来ない。まず、自分自身が常に健康で普通の生活をしたい。また、世の中が平和でなければ弱い立場の人に対する気配りをするのは難しい。平和な世の中が続くよう国民全体で努力したい。
- 人は、日常生活の中で自分のため、家族等のため活動している。仕事や人間関係等のストレスの中で頑張っている。しかし、その生活の中で、誰が見ても人権について考えると、やりすぎ、行きすぎな場面に遭遇する時があります。その時、その人、対象に対して、非人道的なことを勇気を持って、できるだけ皆で、その場で注意や改めるように働きかけができ、持っていける社会になれば良いと思っています。
- 人間、生まれたら、大なり小なり差別は(する)(受ける)。皆、平等は困難だと思えます。私は当たり障らずという生活を続けて、将来、平等、差別等の人権に関する社会は可能だと思えますが……。
- 人と人とのつながりがなくなっている様に思える。気軽に声を掛け合って、住める社会が望ましい。
- 差別のすることについて理解を深めることも大事だと思う反面、差別があるという事実を意識してしまい逆に差別してしまう気がする。差別や偏見は身近な人、尊敬する人から影響を受けやすいと思う。正直「差別をなくそう」ということをわざわざ言う必要がないと私は思っています。その人個人を尊重できる社会になれば良いと思えます。

#### <人権意識等に関する意見>

- 悪は決して栄えない。人には、正しい考えを持って接するべきです。人は愛を、自分にも愛を。
- あまり気にしない問題で、日本人で、四国で、香川県に生まれ育って、人権問題等気にしないで生きてこれたことを幸せと思ってます。皆が幸せに生きる為に、この調査があると思っています。日ごろの、小さい幸せを感じていれば、こんな問題は無くなるじゃないのかな？ウクライナを観て、本当に思うこと。
- 光があれば影がある。人権問題深く考えれば考える程難しい。相手の気持ちになること常に考えること。ゆっくりゆっくり時間をかけて。戦争が無くなる世界へ。
- 私の小学、中学時代は祖父から同和について話を聞くことが多かったです。しかし子どもたち(現在30代、40代)は学校で同和教育として話を聞いてきました。子どもたちが学生、今もですが、私が少しでも差別的ことばを言うと、反発します。学校でしっかり同和教育したんだあとと思えました。少し行きすぎの所もあるのではと思ったこともありましたが。私も差別するつもりはありませんが、その時その時で対応していかなければと思います。
- 今回の様なアンケートに接しますと自分がいかに人権問題に無関心で有ったかが判ります。その態度を反省し少しでも改めなければと思えました。
- 差別する人は差別を自覚してます。差別を受けたことのない人が何を言っても差別された経験のある人の心には刺さりません。部落にせよ、ハンセンにせよ、感染症にせよ家でそう教えられて育ったのです。私も私の家族も自分の産まれた場所を捨て、出身地を隠し、本籍を変えて生きています。差別がなくならないことは身をもって知っています。きれいごとを並べずに、出来ればそっとしておいてほしいものです。切に願います。
- コロナ感染のおそれがある状況になった時、今まで普通に接してくれていた人が、自分を避けるように接するようになった。こんなに、いとも簡単に差別が発生するのか・・・とガク然とした。女性や障がい者など属性によってある意味“固定”されているものだと思っていた差別が、このように流動的なものでもあると感じた。
- 自分の権利は主張するが、相手の権利を慮る人が減っている気がします。子どもには、人間関係は合わせ鏡であると教えています。人に親切にしてもらいたいのなら、まずは自分が親切にすること、相手の立場になって考えることです。
- ひとは皆違う。その理解の促進が大事。ひとは完璧ではない。少しでもお互いが笑顔になるよう一人一人が心がける。
- 知らないから興味がなくなる。知らないまま大人になり子どものような態度をとる人が多い。自分

- が同じ立場になって初めて気付く。遅い。
- 自分の身の周りでは、人権に対しての不公平を感じたことが無く、今回のアンケートに答えるのに難しさを感じました。しかし、アンケートに答える中で、同和問題や、人権についてあらためて考えさせられました。問 33 での 2、で丸をしましたが、知らず知らず自分は差別してしまうかもしれないことを自覚し、行動していきたいと思います。
  - 差別される側の意見や意識改革も重要だと思ふ。
  - 私自身が同和地区がある校区だったので、中学になって同和教育と言われる授業を受けたことがあります。しかし当時そう言う地区から登校してくる同級生が何か特別だったとは一度も思ったことがなく、同和教育を受けることで初めに偏見を持ってしまった気がしました。その後、我が子が中学になり、PTA で同和問題について学ぶ機会を得ましたが、その時、差別とは保護からも生まれているのではないかと思ったのを覚えています。過去にどんないきさつがあったにせよ、同和問題はそろそろ部落と言う地域性をとり払うことが一歩ではないかと考えます。貧困家庭、虐待等の問題や職場での差別等、声をあげられない人々の声をひろいだす事が人権を考えることだと思っています。
  - 身近に問題がないから考えたことはありません。
  - 同和問題等近年では気にしたり差別する人は私も含め少くなっているのでは？女性に対しても、外国人に対しても同様に感じる。差別や侵害があることを明らかにするより根底は人を大切に、ということか思いやりの精神をもつとかが全て問題を無くすることなのでは・・・とアンケートに答えながら感じました。皆同じ人間なのだと・・・昨今の子どもたちの虐待は心が傷みます。夫婦仲良ければこんなことおこりませんね。法の整備よりやさしさあふれる市になればいいと思います。
  - 深く知るべきことが多くあることに気付きました。今後、これを機会に高松市の取組とともに学んでいきたいと思います。
  - 人権問題は、多岐に渡り非常にむずかしいです。その為、余り深入せずになりがちです。
  - 人権問題については対象者とそれ以外の人々の両者の理解が必要だと思ふ。
  - 女性というだけで軽んじて見られる(男女差別はなくなると思う)。守るだけではなくて、理解を得る事が大切だと思ふ。差別と区別を使い分ける(言葉の意味を考える)。他人の立場に立てる人が少ない。相手の事を考えられない人が増加した様に感じる。自分含め、障がいのある人や同和問題等が身近にないので深く考えられない。
  - 人権という言葉は最近頻りに聞くようになったが、地公体、マスコミでの報道も上すべりしているように思ふ。人権問題は、実際に自分が当事者にならないと真険に考えない人が多いので難しい問題だと思ふ。
  - 人権という言葉は小さい頃からよく聞きますが具体的に何かと問われれば難しいものだと思います。同和問題や男女差別などの歴史や現状、病気に関する正しい知識をいくら提供したとしても個人が生活してきた中で根付いた考え(世代による感覚のズレなど)や、世間で「偏見」と言われる感じ方をしてしまうこと自体は決して否定できないと私は思います。差別に関することでも、人それぞれ考えがあるので「こう思わなくてははいけない」という強制はできないということです。人の感覚にズレがある以上偏見や、心の中で差別をしてしまうことが完全になくなることはないかもしれませんが、日頃のあいさつから始まりしょ～もない話を通してでも少しずつ色々な人とコミュニケーションをとっていけば徐々にお互いを理解し、認めあうことにつながりそれが相手を尊重することに発展するのではないのでしょうか。人権問題解決とまでは至らなくても私たちが生活の中でそういう意識を持つことで少しでも人に手をさしのべられる社会になることを願っています。
  - 病気や障がい、宗教や文化・・・知らないこと、ものへの恐怖や嫌悪・無関心。あらゆる差別・偏見は正しく知って、正しく理解することでそのほとんどは解決できると思ふし、そうあって欲しいと思ふ。そのために自分自身も正しく理解する努力をしたい。
  - 「人権」と聞くと重い言葉だと思ったり、何となく自分にそこまで関係しているのか?と思ふが、改めて考えると生活している中の自分が感じていたことが実は「人権」に関することだったりするなと今回のアンケートで思ふ。
  - 人権尊重を語る際には、公民としての義務の遵守及び公共の福祉に反するものであってはならないことを語るのとはセットでなければならぬ。
  - 小さい頃からの正しい理解が必要であり、大人になってから意識を変えようとしても難しいと感じます。学校や家庭での教育が大切であり色々な問題が結び付きあっていると思ふので、現状を変えるには相手を変えるのではなく自分を変えなくてははいけないと思ふことから始めると良いと思ふます。そういう意味では相手を思いやる気持ちを育てる事が大切(全てに共通した意識)だと思ふました。
  - 一人の社会人として常識的な人権意識は持っているつもりで生活してきましたが、今後はより一層意識を高めて過ごしたいと思ふます。
  - どれだけ差別をなくしましょうと声をあげていてもなかなか差別はなくなると思ふます。一人一人が少しずつ意識を変えていけば時間がかかるかもしれませんが今よりは多少差別は少なくなっていくのでは?と思ふます。自分も無意識に差別をしていることもあると思ふので、気をつけたいと思ふます。
  - 人は一人では社会生活はできない。人は支え合うことで生きて行ける。「人」この文字のとおり！！シンボルマークが全てを語っている。お互いに思いやり許し合い愛し合う生活をしたいものです。

#### <行政に関する意見>

- 設問にある問題をテレビや新聞で見ることは多いが、それを自分事としてとらえることが、これま

で少なかったと反省している。それらの問題がすべてなくなることは不可能だと思うが、教育・啓発活動等の対策で、それを減らすことは可能だと思う。人間は理性の動物であり、みんなが少なからず潜在的に持っている差別心等を良識的な能力で排除することができるはず。今後も、様々な対策をお願いします。

- 本当に困っている人は、声をあげられずじまいと思う。真に困っている人を救い出せる枠組や体制をつくるのが重要と思う。障がい者、高齢者、ヤングケアラー等耳目にするが、自分がその立場や介護する段になって初めて分かるように思う。健常者やその家族にも、現状が伝わる情報発信が必要では。私は、障がい者を持つ親と知り分うことで色々な障壁や行政に求めるべきことを知らされた。外国人の人権も大事と思うが「郷に入れば郷に従え」も大事と思うし海外に住む邦人の人権も擁護して欲しい。
- 差別、偏見最大の敵は自分自身の心。その心の壁を打ち破る勇気がなければ・・・！市民の心を揺がす、本気のを提供してください。行政が・・・新しい発想で！
- 基本は人権が尊重されることが最も大切だと思います。自分が侵害されていないからよしとせず侵害が存在している限りは、全ての人の人権が尊重される社会(市)の実現をめざすべきだと思います。みんながこの市に町に村に住んでよかったと思える地域づくりに市には取り組んでいただきたいと思っています。現実には市街地とそうでない地域の格差が非常に大きく、住む場所によって、人権が侵害されていると言っても過言ではありません。人権が全ての人に全ての場所に差別なく、保障されることをお願いいたします。今回のアンケート十分に活用していただきたいです。
- 人権問題の理解は年増すごとに自然的になりあまり啓発的なことも考えて寝た子を起こすことになり、方策を考えて行く施策をしてはどうか？
- 自分が住んでいる家の近くに、同和による差別意識が強い人(女性)がいます。何故差別するのかよくわからないが、固定観念の強い人を変化させるような動きをしてほしい(同和だけでなく、様々なハラメント、例えば、女性は結婚したら仕事を辞めて家庭に入れ、とか結婚できない男性は、人間失格だ、とか)。そんな考えを持っている人たちを変化させるような動きを高松市には取り組んでほしい。
- 人権に関して知らないことがあり勉強になりました。私のような人もいるのではないのでしょうか。社会に広報啓発活動に力を入れて下さればと思います。
- もう少し市報とかに問題点をPRする。
- 差別してはいけない、ということとは、多くの人が分かっていることだと思うが、相手のことを知らないがゆえに、知らない間に相手を傷つけてしまっていることは多々あると思う。なのでもっと色々理解したい。とは言え、個人で理解度を高めるには難しい部分もある。そこで、もっと身近に、相手の困っていること、不便なことを感じることでできる環境を公的機関が率先して作ることが大切ではないかと思う。例えば、イベント(公的機関の主催事業)は、外国語表示を必須とし、“○○のサポートのため、こういった取りくみをしています”と目立つたように書いておく。すると、誰かは、○○で困っている人がいるんだなと気付いてくれるだろうと。同じように、ユニバーサルデザイン・バリアフリーを必須。そういった取組を見れば企業がそれをお手本として、参考として、色んなことに対応できるのでは。公的機関は、民間より取組が遅いと思う。もっと率先して頑張りたいと思う。いい高松市。16億かけて作ったやしまーる。バリアフリーを一切無視していると思う。あれをバリアフリー対応だと言うのであれば、それこそ高松市そのものが、人権尊重について考えなおした方が良いでしょう。アンケート、貴重な機会をくださり、ありがとうございました♡♡♡3000人の意見が高松の発展に活かされますように♡♡♡
- いろいろあるが書き切れない。行政に、ほんとうに取り組む気があるのか。取り組む体制が出来ていない。そこが一番問われている。人権啓発課に部長もいないんですか。市長直属の特別部局が必要で。市政の中心に置かれていないと思います。※部内で大した評価が得られない中でがんばっている皆様には敬意を払っています。部局の一層の充実、人員増などが課題でもなと思っています。
- 人権ポスターはよく見かけるが、キャッチコピーだけではよく分からない。具体的に事例をいくつか書いて相談電話番号等を載せてほしい。どのような相談内容で相談してよいのかわからないため。
- 人権侵害の解決のためには市民一人一人に求める前に国や市がきちんと法の整備をするのが先だと思います。SNS等のネットワークが普及したので様々な情報を若者、子どもが得ることができます。しかし規制ができていないので犯罪が起きています。いくら人権尊重の意識を学校や職場で高めてもマスメディア等の良くない情報を防ぐことはできません。1番は、マスメディア等の情報を発信する人々のモラルをしっかり規制することだと思います。そして法の整備です。

#### <教育に関する意見>

- 一人一人の倫理観を養う道徳教育が重要と思う。
- 差別がなくなる社会になるために学校教育の役目は大きいと感じる。学習を通して理解し、無知による差別や人権を踏みこむような差別が起こらないようにしたい。またいじめも人権を踏みこむ行為であり、子どもたちにもしっかりと人権を学ぶ機会を作りたいと思う。
- 様々な差別は、相互の理解不足や誤った情報を信じているなどの正しい知識がないことから起きているのではないかと考える。正しい知識を学ぶ場が大切だと思う。
- 家族の中でも人権問題は発生するということを感じ、苦悩もあります。その様な中に自身が置かれ思うことでは、受ける教育が大切ではないかと言うこと。家庭内、学校でお互いを尊重するという学びが低下しているのではなからうかということ。それを今切実に感じています。
- 突然の意識調査で少し驚いたが、知らない言葉の解説等もあり勉強になった。人権は、何人にも侵さ

れる事のない万人が持つ権利だと思う。ただ差別と区別は違うので間違えてはいけないとも思う。自分の過去を思い返してみると、人権について記憶にあるのはやはり、小学校、中学校の授業で学んだことが頭に残っている。種々の人権問題が存在していることの実をきちんと教育することは、これからの社会にとって大切であると思うし、不当な差別は、絶対に無くすべきものであると思う。社会人となり、人権について考える機会をいただき、素直によい機会をもらったと思いました。

- 学校の授業や発表会などで人権問題を取り上げるが、はたして、それがどのくらい一人一人に理解できているか、それは先生も理解していないのではないかと思う。いじめがなくなるのは、先生が見て見ぬふりをしているところにも原因がある。いじめは大人になればなるほど悪質だと思うし、それをまた上司は理解しようとしない。結局、自分がかわいいから、自分だけ、その問題に巻きこまなければならないと思っていいとしている人間ばかりだと思う。実際私自身、上司からのいじめで会社をやめなければならなくなり、病気で死んでしまうところだった。だから、人権、人権と言っても、一人一人の本質には踏み込むことができない、やっかいな問題だと思っています。

#### ■〔同和問題（部落差別）に関する事〕

- 同和問題 部落を無くしていけば自然と消えていく。部落が有るのが問題。
- 同和問題について・・・今の子どもたちはあまり知らないと思います。同和、同和と言った場合、子どもは同和ってなにと聞くと聞きます。知らない方がよいと思います。
- 私が子どもの頃に育ったのは同和地区のある所でした。学校では定期的に人権学習や部落差別をなくす活動などありました。子どもの頃からそのような環境で育ったので自分が大人になった時に、子どもたちにも差別、偏見など教えてきました。今の子どもたちは、あまり、もう知らないように思います。私も結婚の時、相手の方が部落出身ということで反対された経験があり辛い思いがあります。このようなことが今後ないよう活動は続けるべきだと思います。
- 特にはないが同和問題を市が解決しなくて広めている。
- 同和という言葉自体が良くないし昔からの慣習で私自身も、子どものころ祖母から聞いて、そういう部落があることを知った位で、今時、あえて取り上げて同和問題ということ自体がおかしい様に思います。昔からの同和地区ということ自体知らない世の中にある面、なっているように思います。
- 同和問題については、小学校で学習するまでは全く知りませんでした。私の場合は、小学校で学習してしまったばかりに知識が身につけてしまい、その地域が怖くなってしまいました。両親も私が小学校で学習したことを話すと、小学校では教えてくれなかったことを教えてくれました。無知は危険で偏見を生む原因になることも理解できますが、私は知らなければよかったと思ってしまいます。もしかしら、学習してしまうばかりに偏見を生む…それも有りえることではないでしょうか？とても難しい課題だと思えますが、そっとしておけばもしかしたらこういった問題もなくなるかも…と思ってしまいます。

#### ■〔女性に関する事〕

- 上級国民という最近の言葉があるが、さすれば誰が下級国民か。男女平等、参画などと言いながら、何故に、社会の重要ポストに女性が、いかに少ないか、特に議員(国会、地方を含む)先生方、また、会社の役員も同様である。能力においても女性は優秀であると断言できる。私の思うところでは、幼児教育から始まり、小、中、高の段階までは、大抵の科目(特に理数系)においては女性が常に上位で優秀であった。それにもかかわらず、現社会で活躍できないのは歴史的経過もあるかと思うが、未だに、封建時代を引きずっているように思えるのである。
- 女性の体の事について最近ではよくテレビ等で取り上げられ、いいことだと思えます。コロナや貧困で生理用品が買えないとか外国では「生理用品手当を！」との要求まであるとか。今女性が女性であることに声をあげています。平等と同権は違いますが、つくづく昭和世代はがまんしていたんだと思えます。

#### ■〔ハラスメントに関する事〕

- 職場でのパワハラ対策を強化してほしい。

#### ■〔子どもに関する事〕

- いじめについて「いじめ」という言葉で片づけてはいけません。暴行、傷害、恐喝、殺人未遂…犯罪であることを認識させなければいけません。
- 小中高生の制服を私服 OK にすることを提案させてください。これ程多種、多様な衣服にあふれている現在、学校で制服 1 種に限ることは、不自然で、子どもたちに対する一種の人権侵害だと思われれます。冬の寒さ厳しい折、スカートでというのは健康面からも不当なことでは？経済面からも高価な制服は着替えも用意しにくいので週一度の洗濯では不潔になりやすい。体の開放は心の開放、華美に走るという意見もありますが、そのような安易な言い古された主張に固執すべきではありません。大切なことは制服によってしぼること、安心するのではなく、子どもたちを信じぞんぶんに好奇心を育てることこそ大切なこと、言われなくても研究に勉学に励むでしょう。いじめも減少に向かうと確信します。まずは子どもたちの意見を求めることから始めてください。校則の見直しを子どもたちというのは国内でかなりの流れになっているように感じられるのですが、期待していません。
- 最近弱者の人権がいまいち、守られていないように思われる。特に、乳幼児の人権が守られず、悲しい事件が起きているようだ。これは、養育者が未熟なせいか？それとも、養育者を取り囲むまわりの者が、無関心のためか？私(90才)の育った昭和(戦前、戦後)の時代は、一家庭に子どもの数は

5人~10人以上という家が殆んどであった。今のように核家族の家はなく、親が働いている間は、祖父母などがしっかり育児をするように思われる。生活は豊かではないが子どもの人権はある程度、守られていたように思われる。戦後、人権人権と叫ばれているようだが、義務というのはどうなっているのか？子どもは生まれてから、周りの者の愛情をうけて、健全に育つのではなからうか？人権については、しっかり考えることが大切だと思う。

- 学校のいじめ問題について、スクールカウンセラー、病院受診等をして先生方にも協力をお願いしても理解を得られず、良くなってきたと思えば悪化のくり返し。対応の改善をお願いしても良い返事はもらえない。精神DVは命にかかわりにくいという理由で力になってもらえない。数年たつが以た相手を見るだけで動けなくなる動悸、嘔吐、チアノーゼ等で受診した事もあるが・・・。電話相談のカードを学校からもらうが有料で収入が少ないため、相談しても助けにならなかったため電話できない。いじめられた子のカウンセリングも大事ですが、した人のカウンセリングもして欲しい。  
☆精神DVも力を入れて欲しい。
- 子どもの人権で親の都合で亡くなったニュースを聞くと心が痛みます。私も間違ったことに対し、叱ることがありますが、仕事や時間に追われ感情に任せて怒ることもあります。自分に余裕がなくあとで反省します。家族など助けになる人に相談したりしています。子どもの人権が守られるためには、子どもの権利をしっかり考え大人も子どもと一緒に考える機会を作る必要があると思います。

#### ■〔高齢者に関すること〕

- 老人の居宅の事で話を聞きましたが借家の退去を言われ(独り住まい)転居をせざるをえなくなりましたが、入居が大変難しく、独り身の方は市営住宅にも入れず勿論一般住宅にも入れず、困った未安価な入居施設に入れてもらいました。独り身の老人を救うことも出来ないのは気の毒でした。私は覚悟せねばと思いました。老人問題をもう少し考慮する必要があると思います。
- 高松市内の道路に歩行者・自転車等が地下道を通る交差点があるが、EVがないものが多数ある。老人・障がい者にとっては困難である。マンションに住んでいるが、1階にある共用トイレの使用が制限されている。排尿(頻尿)が困難な老人に使い易くする要望をしたが、若い管理者は理解を示してくれない。JR 栗林駅は高架上にあり、改札口(切符売場)へ行くのに30段近くの階段を上らなければならない。EV・エスカレーターなどの設置が欲しい。市内生活圏の舗装路の表面が荒れており、車椅子、自転車等が通行しにくいところが多い。車の通る路の舗装修理を優先しているように思う。

#### ■〔障がい者に関すること〕

- 障がい者の施設で仕事をしていたので人権に関しては色々経験したし考えさせられることが沢山ありました。障害がある人もない人も皆が暮らしやすい(高松市)世の中になることを願っています。又、私に出来ることがあればお手伝いしていきたいと思っています。
- 先日、車いすに乗った障がい者が、道路の路肩を通っていました。歩道は凹凸が多くあり、仕方なく路肩を通っていたようですが、危なそうでした。車いすが通りやすい歩道があればと思いました。
- 障がい者に対して、人権差別、障がい差別があることの知識が必要。手話は言語であることを知ってほしいです。

#### ■〔外国人に関すること〕

- 日本人は悪気なく、「外国人ですか?、ハーフですか?」と聞くが、顔だけで判断することがある。同じ日本人でも地域によって顔の濃い・薄いがあったりするため、わざわざ言うものではない。因習だからといって、本人の意思を尊重せず、決め付けるのはいけない。タトゥーが入っているだけで、反社会的な人と決め付けられない方がよい。タトゥーがあっても、悪い人だと決め付けられない方がよい。
- 外国人労働者の問題を考える。外国人は何を求めて高松へ来たのか。将来に何を求めているのか。彼らと共に暮らしていける社会を望みます。高松市民のひとりとして何が出来るのか。公的支援を望みます。
- 外国人の人権(差別)について 日本人が、その国の文化を尊重するためには、公共の場においては日本の文化を尊重した行動をとってもらおうよう、外国の方の協力も必要だと思う。

#### ■〔ハンセン病回復者に関すること〕

- 高松には大島青松園があるのに、行政や弁護士は、積極的に係わっていない。大島を大切にしてくれるなら、コロナ第7波の中で瀬戸芸大島会場は、中止にしてあげて欲しい。ハンセン病や大島を伝える為に瀬戸芸は有効だと思うが、入所者の方々が、こわがっている時に、沢山の人が訪れる瀬戸芸は、賛成出来ない。ハンセン病についてのイベントは、ちゃんと知識を身につけた方にやってもらいたい。

#### ■〔インターネットによる人権侵害等に関すること〕

- ネット上での言葉での暴力で自殺まで追い込む世の中になっていることに心が痛みます。情報が氾濫しているからこそ、自分自身が正しく意見できるよう平和に安心して生活していける高松市になって欲しいと思っています。
- 権利ばかり主張し、自分を変えない人が多くなった。と感じます。ネットの書き込み等も発信者が不明とか明確でないものは表示されなくすれば良いと思う。
- 主な情報はインターネットだが、見てはいるが、それを全部信じていないし、リツイートなどで拡散等はしていない。信じたりしている若い子どもたちが心配だ。
- ネットでの誹謗中傷などで、個人の権利又は仕事の低迷が起きていることなどは大変許しがたいこ

とだと思います。ネットの規制を推進して精神衛生上良くなる世界をつくって欲しいと思います。

■〔新型コロナウイルス感染症に関すること〕

- 新型コロナウイルスの治療に当たる医療従事者に対して差別がある。個人の自由とはいえ、ワクチン未接種の方の検査の際は「なぜ自分は大丈夫」と安易な気持ちでいるのか、不思議に思う。そのような人に限って、緊急事態宣言の際に飲みに行ったり、不必要な外出をして感染するということがあった。ワクチンを受けようと思ってくれるような取組をしていただけるとありがたいです。
- 家族の者が医療従事者ですが、ワクチンをしないと選択をした従事者に対して、差別的な態度をとる人がいるとか。医療現場では、日々感染者が増加し、疲弊していて、人間関係がギスギスした為に心の余裕がなく、差別的になるのでは？と、話しております。

■〔人権擁護委員に関すること〕

- 人権擁護委員には、名誉職ではなく、地に足をつけコツコツと熱意を持ってやってくれる人を願う。

■〔意識調査に関すること〕

- 私はこのアンケートをととても重要視して何日も悩み、やっと鉛筆を持ち、それでもちゅうちょしながら数日かけてアンケートを仕上げました。私はとても大切なアンケートだと思ったからです。人の命にかかわるとまで思ったからです。何日も悩み、相当な時間をつかい、心の中の私の差別を思い起こしながらのつらい時間でした。なのになのに『ご協力ありがとうございました。調査票は、返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です) ご面倒ですが、よろしく願いいたします。』このくらいの気持ちしか、高松市の人権啓発課にはないのですか・・・もっと考えてください!!これも数日考えた結果です。よりよくなることを願ってのことと思ってください。

■〔その他〕

- 過去にあった出来事をいつまでも引きずるのは間違い。未来を見ましょう。補償金を出すぐらいなら子どものための補助金に使うべき。死ぬ人より、これからをになう若者・子どもに限りある資源を使いましょう。
- 小さい子どもが親の非常識な行動により死亡する事件には特に心が痛みます。こうした親への再教育。北朝鮮による拉致問題解決なくして人権問題有無なし。
- テレビ等で、みなさん立派な言葉を述べているが、現実の場面で、自分のこととして問題に直面した時、自分の利益のみに囚われない公平な行動が本当にできますか。特に立派な立場におられる方々、最近テレビその他で話題になっている事件での関連事など…
- 御夫婦で来店されたお客様に対して、男性には丁寧な対応なのに、女性には見向きもしないとか、車やPCを買いに行けば、当然のように男性にだけ声をかけるのは何故か。香川は男尊女卑や女性蔑視が強い気がします。
- 今回のアンケートに参加しましたが高齢の人生で最も無理でした。パソコン、インターネット、スマートフォン他今の生活について行けない私です。本当に迷惑を掛けたように思います。すみませんでした。